

2011年度

科目名	英語学演習2		
担当教員	田畑 智司		
配当	英語3	コード	14052
開期	後期	講時	月曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	コーパス言語学入門(応用編)		
目的と概要	コーパス言語学の概説書を読みすすめることで、まず基礎的事項を習得する。図表を用いたプレゼンテーションに加え、British National CorpusやLOB、Brown、FLOB、Frown等の各種コーパスを用いた言語処理のデモンストレーションを通して、コーパスから有用な言語事実や言語使用のパターンを探し出すにはどのような工夫が必要か、言葉を分析する上で必要な洞察力を身に付けるトレーニングを行う。		
成績評価法	授業時のプレゼンテーション・レポート(50%)、学期末試験の成績(50%)により評価する。		
テキスト	石川慎一郎『英語コーパスと言語教育』(大修館書店)		
参考書	齊藤俊雄、中村純作、赤野一郎(編)『英語コーパス言語学:基礎と実践 改訂新版』(研究社)		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	輪番制の発表は2~3人のグループ単位で行ってもらうので、あらかじめ誰とグループを組むか考えておいてもらいたい。なお、欠席・遅刻が4階以上ある場合は単位認定しないので、無駄な欠席をしないよう努めてもらいたい。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コーパス研究の潮流</li> <li>2. コーパスと言語研究</li> <li>3. 研究の背景と視点</li> <li>4. 共時的言語研究: COCAとBNC</li> <li>5. 通時的言語研究: COHAとHelsinki Corpus</li> <li>6. 類義語間の差異</li> <li>7. 学術文書の言語特徴</li> <li>8. サイバースペースの言語特徴 (eメール、ブログ、etc.)</li> <li>9. 説得術としてのスタイル1 (演説)</li> <li>10. 説得術としてのスタイル2 (製品発表会)</li> <li>11. 批評的 (批判的) 談話分析1</li> <li>12. 批評的 (批判的) 談話分析2</li> <li>13. 小説の言語特徴</li> <li>14. 使用域と言語: まとめ</li> <li>15. 総括</li> </ol>			